

就労支援スキルUPセミナー

12月開催分の「セミナー内容」ご紹介



※各講師陣にそれぞれのセミナー内容について聞いてみました。
是非、受講の参考にしてみてください。

○通所プログラムによる就労支援 (12月4日開催分)

- ・「通所中は順調に取り組んでいたのに、就職したら続かなかった・・・」「仕事自体はできているみたいなのに人間関係でうまくいってないみたい・・・」「資格はたくさんもっているのに就職できない・・・」こういった利用者さんいませんか？
- ・このセミナーでは、障害者職業センターの通所プログラムである「職業準備支援」で行っている就労支援についてお伝えしていきます。模擬的な就労現場における同僚や上司の視点に立ったアセスメント、支援内容の決定、自己理解の促進についてお話しします。
- ・後半では「問題解決技能法」を面談場面への取り入れ、認知機能のアセスメントや、本人が主体的に解決策を検討していくプロセスについてお伝えします。
- ・就職前の通所支援から、就職後の職場(同僚・上司)や定着支援のスタッフへの円滑な連携・情報共有の方法、連続的な支援を行っていくための工夫について考えていきます。

○企業へのアプローチ (12月10日開催分)

- ・障害のある方が企業へ就職する際、また継続的に働き続ける際には、障害のある方への支援のみでなく、受け入れ先の企業に対する支援も求められます。そのためには、企業が障害者雇用に対してどのようなイメージや考えを抱いているのか把握しておくことが必要です。また、支援対象者の方が応募を検討している企業がある場合や企業から雇用の相談を受けた場合などには、その企業の考えや職場環境を具体的に把握(アセスメント)していくことになります。
- ・このセミナーでは、企業の実態をお伝えするとともに、企業とかがかわる際のアセスメントの視点について学んでいただきます。その上で、どのようなアプローチを行っているか、「事業主支援」の方法についてお伝えしていきます。
- ・具体的な事例を交えながら演習も行いますので、様々な立場の方から意見に触れる機会になると思います。ぜひご参加ください。

○ケーススタディ (12月19日開催分)

- ・日々就労支援を行う中で困難に感じていること、もう少し違った支援をできればよかったのではないかと感じたことはありませんか？これまでの支援を今後の支援に活かしていくためにも、様々な立場の支援者からの意見を聞き、皆さんの支援の引き出しを少しでも増やす機会になればと考えています。
- ・就労支援のステージは就職前から就職後まで連続的であり、それぞれの支援機関が担う役割も様々です。そのためにも支援機関との連携を効果的に進めることが求められます。立場の異なる支援機関から意見を聞くことで、連携という観点からも支援の幅を広げるきっかけになると思います。
- ・皆様の疑問や困りごとなどについても意見交換できる場を設定していきたいと考えております。当日取り上げたいケースをご用意いただいたうえで、ご参加をお願いいたします。